

奈良女子大学 子どもネットワーク第2回公開講演会
「子どもの食と食教育を考える」

日 時：2010年6月12日（土） 午後1時～4時

場 所：奈良女子大学 E棟 261号室

講 師：下記参照

参加人数：60人（一般 25人、学生 35人）

本講演会は、昨年4月に発足した「奈良女子大学 子どもネットワーク」主催の2回目の公開講演会として企画されました。今回は、「食」をテーマに、食物栄養学科に所属する教官の発表を中心に構成されました。

基調講演として、中津済生会病院小児科部長 末廣豊先生から「知って安心！食物アレルギー」をテーマに話がありました。先生は、30年を超える小児のアレルギー疾患の診療経験を持ち、臨床家の立場から実践的な内容を提示されました。まず、食物アレルギーの疫学、診断、治療について話され、最近の話題である「運動誘発性喘息」や「口腔アレルギー」にも触れられました。「食物アレルギーを恐れて過剰反応を起こすことなく、冷静な父兄の対応が必要である」ことを繰り返し述べられたのが印象的でありました。

ついで、ワークショップでは、まず本学の非常勤講師を含めた3人の先生方から、「子どもの肥満とやせ」（永井助教）、「子どもの食教育—教育効果の評価方法を考える」（上田特任准教授）、「思春期の食生活が女性の生殖機能に及ぼす影響」（藤原非常勤講師、芦屋女子短期大学教授）をテーマに報告がありました。その後、末廣先生を交えて質疑討論を行いました。食物アレルギーの子どもを持つ保護者、大学で栄養学を教える教官や本学食物栄養学科の学生から様々な質問や意見が活発に述べられました。

第 2 回 公 開 講 演 会

子どもの豊かな未来を創る
奈良女子大学子どもネットワーク主催

「子どもの食と食教育を考える」

日時: 2010年 6月12日 (土) 13:00~16:00
場所: 奈良女子大学 E棟 261号室

挨拶

久保田 優(奈良女子大学生活環境学部教授)

ワークショップ

子どもの肥満とやせ

永井 亜矢子(奈良女子大学生活環境学部助教)

子どもの食教育 -教育効果の評価方法を考える-

上田 由喜子(奈良女子大学生活環境学部特任准教授)

思春期の食生活が女性の生殖機能に及ぼす影響について

藤原 智子(芦屋女子短期大学生生活創造学科教授・
奈良女子大学生活環境学部非常勤講師)

基調講演

知って安心! 食物アレルギー

末廣 豊(大阪府済生会中津病院小児科部長・アレルギー専門医)

質問と総合討論

司会: 久保田 優

奈良女子大学 生活環境学部 食物栄養学科
担当: 久保田優
電話: 0742-20-3453
Eメール: mkubota@cc.nara-wu.ac.jp

参加無料・事前申込不要(先着120名まで)